

スーパーシティの選定状況と 今後の方向性

これまでの経緯

経緯

2019年

(11/1)スーパーシティ構想自治体アイデア提出

2020年

(2/17)中心市街地再開発事業との連携協議

(3/10)内閣府村上審議官との協議

(9/1) 改正国家戦略特区法施行

(10/16)第1回前橋市スーパーシティ準備検討委員会開催

(12/25)スーパーシティ提案の公募開始

2021年

(4/16)スーパーシティ提出<応募31団体>

(5/24)有識者（ワーキンググループメンバー）ヒアリング@白井屋

(8/6)第1回専門調査会

(9/27)第1回前橋市スーパーシティスマートシティ推進委員会<第8回準備検討会から移行>

(10/15)再提案提出<応募28団体>

2022年

(2/9)第2回専門調査会

(2/24)第4回デジタル田園都市国家構想実現会議参画

(2/25)第3回前橋市スーパーシティスマートシティ推進委員会<デジタル田園都市国家構想に対応>

(3/4)第3回専門調査会

(3/10) 第53回国家戦略特別区域諮問会議

スーパーシティの選定

1. 3月10日発表「第3回スーパーシティ型国家戦略特別区域及び革新的事業連携型国家戦略特別区域の指定について」

1) つくば市及び大阪市のスーパーシティ選定

2) 吉備中央町、茅野市、加賀市の革新的事業連携型国家戦略特別区域の指定

2. その他

●昨年4月 3 1 団体が応募したが「大胆な規制改革が乏しい」ことから10月に再提案を求め、自治体に対する助言や規制官庁との調整を進めたが、自治体によって提案内容の熟度に差がある。

●このため、「熟度」の高い自治体から順次専門調査会及び国家戦略特区諮問会議に付議し区域指定について具体的に検討する。

●今回の指定から漏れた場合であっても落選でなく提案の熟度が高まり次第指定する。

●「熟度」とは、①規制改革については規制所管官庁と既に合意した項目が複数あること及び規制所管官庁と今後議論が可能な程度に具体化した項目が相当数あること。

②事業については概ね5分野以上で想定している事業者が参画、また、事業者などから規制改革による事業の実現に向けた強いコミットメントがあること。

前橋市スマートシティ推進の状況

1. 方針

- 1) < スマートシティ推進：街のDX推進が目的であり多様な手段で対応する >
スーパーシティ選定にとらわれずに進められることを進める
- 2) < スーパーシティ選定 >
「落選」ではない → 引き続きスーパーシティ選定に向けた対応を継続する
- 3) < デジタル田園都市国家構想への対応 >
デジタル田園都市国家構想推進交付金への積極的対応 < Type2,3対応 >
国の進める**デジタル田園都市国家構想**を意識した取組の推進

2. 概要

1. S C再提出及び事業者提案募集（175事業者の参画）
2. 令和3年度スマートシティ関連事業：まえばしID構築を含めた全国最多3事業採択（8月）
3. スーパーシティスマートシティ推進委員会設立（9月）
4. スーパーシティの先端的サービス公募（12月募集）対応：「交通テック×脳テック」事業
5. 自治体連携のデジタル&ファイナンス未来型政策協議会発足（2月1日総会、25市参画）
6. 第4回デジタル田園都市国家構想実現会議参画 < デジタル基盤整備 >

前橋市の未来への方針(DX推進)

- 「誰一人取り残されない」「個別最適化」
- 「安全安心が大前提・最優先」
- 「みんなのアイデアを官民一体で推進」

＜参考：2月24日第4回デジタル田園都市国家構想実現会議＞

前橋市の取組～デジタル基盤整備～

- ① デジタル基盤の統合ID（まえばしID）
- ② （株）前橋めぶくグラウンド
- ③ デジタル&ファイナンス未来型政策協議会による自治体連携（横展開）
- ④ 実装の一例（MaeMaaS）

官民共創のまちづくり

<2月24日第4回デジタル田園都市
国家構想実現会議資料抜粋>

2016年：「太陽の会」発足



民間主導による前橋ビジョンの制定
(2016年)
「風の会」の発足
(2016年)

2019年：
「前橋デザインコミッション」設立



「前橋まちなかまちづくりファンド」
設立 (2021年)

「太陽の鐘」の設置
(2018年)

前橋イベント開催
(2019年)

白井屋ホテルの開業
(2020年)

2019年：
「アーバンデザイン」作成



2020年：
「先進的まちづくり大賞」受賞



これまでの歩みとこれから

官民共創まちづくり

平成28年
民間主導による
前橋ビジョンの制定



令和元年度・2年度
4府省関連事業に
計5事業採択



2016年、市民と共に創った前橋ビジョン、「めぶくろ」
ここから、全て始まった。

DXの検討加速

令和2年10月
スーパーシティ準備
検討会設置

DX推進3原則を策定

令和3年4月
スーパーシティ区域指定申請
(10月に再提出)

令和3年8月

スマートシティ事業4府省合同審査
にて全国最多3事業が選定

- まえばしIDの構築及び地域「講」モデルでの地域金融再興(内閣府 未来技術社会実装)
- MaeMaaS (前橋版MaaS) 社会実装事業(日本版MaaS)
- 官民ビッグデータを活用したEBPM推進事業(スマートシティモデルプロジェクト)

令和4年3月

内閣府「スーパーシティ構想の実現に向けた先端的サービスの開発・構築等に関する実証調査業務」
■ 「交通テック×脳テック」事業

DXの実装期

令和4年夏
デジタル田園都市国家構想
TYPE3事業サービスリリース期限

前橋市の未来への方針 (DX推進3原則)

「誰一人取り残されない」
「個別最適化」したサービス」

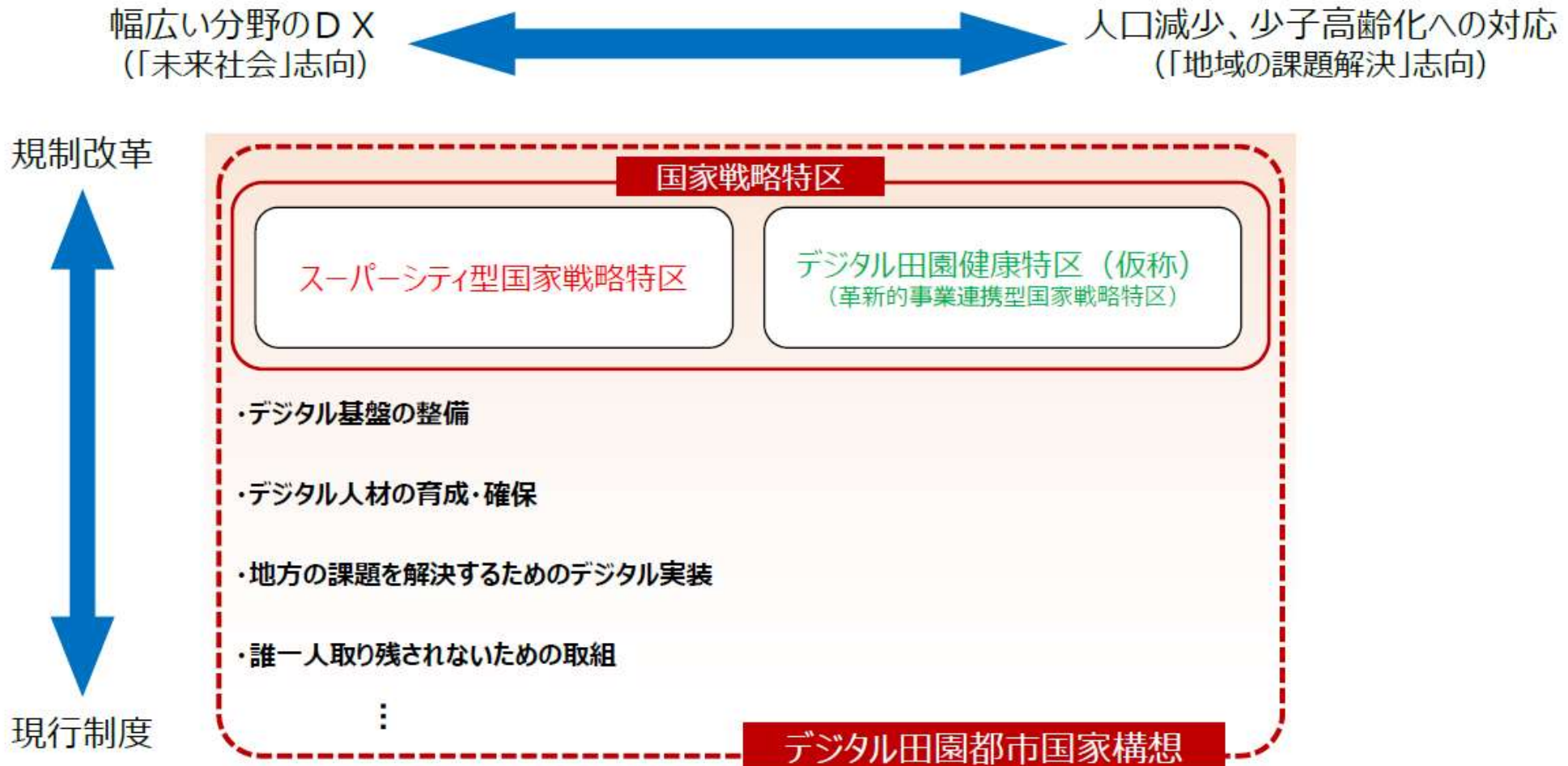
「安全安心が大前提・最優先」

「みんなのアイデアを官民一体で推進」

デジタル田園都市国家構想とは

デジタル田園都市国家構想とスーパーシティの関係性

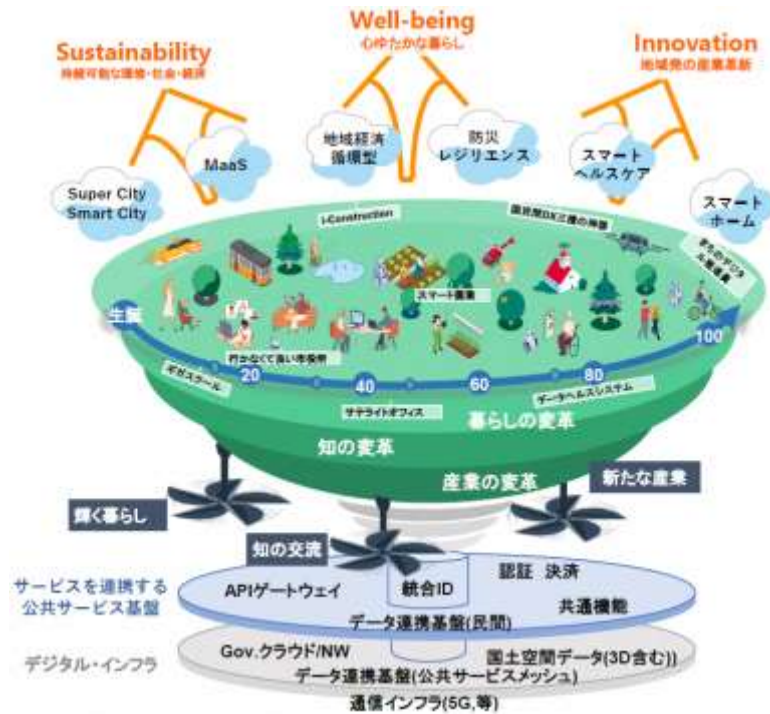
- スーパーシティが、幅広い分野でDXを進める「未来社会」志向であるのに対し、デジタル田園健康特区(仮称)は、人口減少、少子高齢化など特に地方部で問題となっている課題に焦点を当て、当該特区において先駆的に地域の課題解決を図ることを重視。
- いずれも国家戦略特区として、デジタル田園都市国家構想を先導することが期待される。



デジタル田園都市国家構想推進交付金の概要

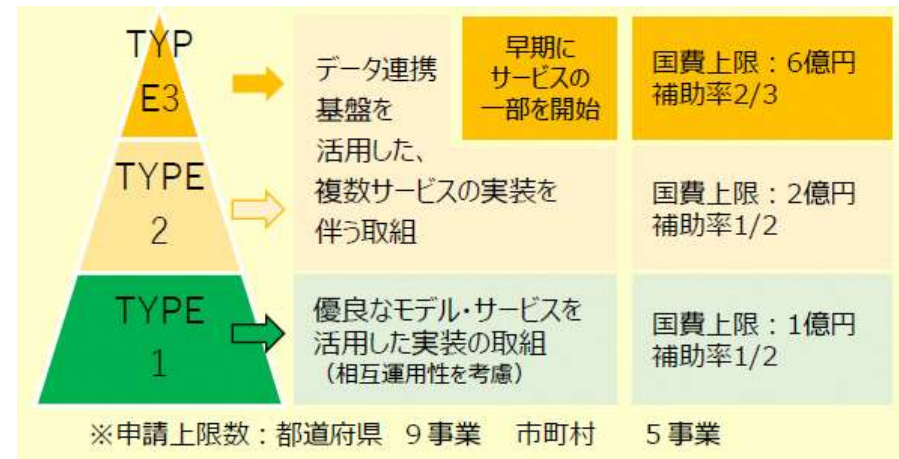
「デジタル田園都市国家構想」はデジタルの力で、「暮らし」「産業」「社会」を変革し、地域を全国や世界と有機的につなげていく取組であり、前橋市においても活用を想定している

「デジタル田園都市国家構想」のイメージ



- デジタルの力で、「暮らし」「産業」「社会」を変革し、地域を全国や世界と有機的につなげていく取組。
- 国が整備するデジタル基盤の上に、共助の力を引き出し、各地域で全体最適を目指したエコシステムを構築する。
- 常時発展・改革していくためにも、知の中核として大学を巻き込み、関係者全員でEBPMを実践することが必要。

「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の概要



デジタル化を活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、

- データ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う取組 (TYPE 2・3)
- 他の地域等で既に確立されている優良モデル・サービスを活用した実装の取組 (TYPE1)

を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要なハード/ソフト経費を支援。

デジタル田園都市国家構想推進交付金のTypeと共通要件

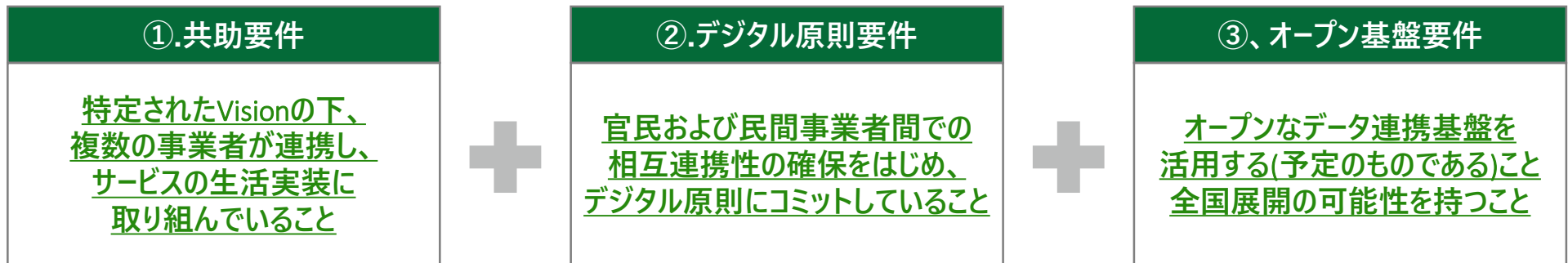
「デジタル田園都市国家構想」では都市を3つのTypeに分類しており、いずれのTypeを目指すにせよ「①.共助要件」・「②.デジタル原則要件」・「③.オープン基盤要件」の3つの要件を達成する必要がある

デジタル田園都市国家構想のTypeの分類



⇒前橋市においては全国を取組をリードするType3での申請を念頭に置いて対応を進める

デジタル田園都市国家構想の共通要件



⇒前橋市においてはスーパーシティ構想等の検討の中で上記の3要件と重なる形での対応を既に進めている

前橋めぶくグラウンド構想（再構成版）

テーマ

先端的サービス（各サービスのプラットフォームを含む）

まえばしデジタル自治プラットフォーム・インフラ

前橋めぶくグラウンド構想

つながりながら、一生涯、育ち、新たな価値がめぶく街
スーパーシティ×スローシティが実現する、多様な人が、

「技術が人に寄り添う」、「先端的」で「パーソナライズ」されたサービス
ビジョンを実現するために必要な、「誰一人取り残さない」、



まえばしID

行為自体が不要な社会生活を実現するための真の未来型ID
「相手が何者かを確かめる」「自分が何者かを証明する」という

市民権 デジタル

真の未来型の民主主義を実現する仕組み
いつでもどこでもまちづくりに参加できるという

グリーンズド （株）前橋めぶく

真の未来型のまちづくりイノベーション推進会社
Society5.0を実現するための

めぶきを生み出す

仕組み

デジタルデバйд対策：
市民のデジタルデバйд対策を実施誰もが安心して先端的サービスを活用できるように

官民一体で中長期的な投資を可能にする新しいファイナンススキーム

めぶきを生み出す

基盤

デジタルインフラ：
「データ連携基盤」と「まえばしmobile(通信網)」

セキュリティ：
個人情報に適切に配慮したプライバシー対策の実施

取組実績：
本申請に先立ち既に実施しているスマートシティ関連の豊富な取組実績

めぶきを生み出す

人

市内の各種団体の関与：
産業界等や医師会等の市内の各種団体の積極的な関与

民間による自発的な活動：
(太陽の会 / GIA・GIS・GPA / MDC / MMA)

スーパーシティへの取組意欲：
スーパーシティ準備検討会 / 159社の事業者公募

「誰一人取り残さない」ための「先端的」で「パーソナライズ」されたまちづくりに必要な「広範かつ大胆な規制改革」

（「少人数学級・修得主義」、「レベル4自動運転・ライドシェア」、「マイナンバーカードの未来形の先行実現」など）

【凡例】

■ 実現したい姿

■ サービスの概要

6

パーソナライズされた交通の提供

- 交通需給マッチングAIによる送迎配車システム等のオンデマンド交通の提供
- 自動運転バス、マイタク、シェアサイクルなど多様な交通モードの提供とそのプラットフォームとしてのMaaS実装

交通弱者をうまない、持続可能、かつ環境負荷の少ないパーソナライズされた交通手段の提供

7

誰もが負荷なく医療・福祉にアクセスできる

誰もがストレスなく生活できる多様性・受容性のある社会の実現

- 電子処方箋及び宅配サービス（オンデマンド交通、ドローン等）
- 福祉Mover
- SIBの介護分野導入
- 個別最適化された保険商品の提供

5

どんな時でもつながる安全・安心の確保

- 「ひと・うち・まち」の見守りサービス
- リアルタイム交通制御による交通ルート最適化
- 災害時の交通情報集約、道路状況データ集約、市街地モニタリングポスト情報の集約
- 避難所のチェックイン、避難誘導指示の高度化

平時・緊急時・災害時における市民の安全・安心の確保

8

先端医療・PHRによる健康リスクの低減

PHRの活用やゲノム解析等の最先端医療サービスの提供を通じた健康寿命の延伸

- 認知症予防に関連する早期発見法の提供
- 遠隔診療サービス
- ゲノム解析による薬剤リスクの軽減
- シート型体温偏移計「ハルシエ」による健康増進
- まえばしIDを活用したPHRプラットフォーム

4

誰一人取り残さないオンライン投票

- 市民コミュニケーションプラットフォームの構築
- まえばしIDを活用したオンライン住民投票

いつでも・どこにいても自分の意思を市政に反映させられる社会の実現

9

温泉tech・食tech・運動techによる健康増進

温泉・食・スポーツ等をDXした市民の健康増進

- ウェアラブル端末によるストレス計量化
- 写真による食事データ記録・分析
- 温泉等による健康増進

3

まえばしIDを活用したグローバル連携学習

- オンラインでの海外交流の促進
- 日本人学校の生徒への高等教育の提供
- まえばしIDを活用した多文化共生プログラムの提供
- 及びパキスタン等海外IT人材の活用

海外日本人学校とのグローバル連携学習及び外国籍のこどもの学育の充実

10

アート・音楽によりめびき場を創る

規制緩和とデジタルを最大限活用したアート・音楽に触れ刺激にあふれた生活の実現

- アートに触れる機会の拡大とアート人材の発掘
- 最先端技術のアート・音楽による知的好奇心の満足
- リアルメガアートイベント（アートバーゼル）実施
- eSportsのモータースポーツ版「eRacing」連携によるEVカート事業

2

新たな小中高大一貫型学校における未来人材育成

- 公立民間運営の先進的なカリキュラムを提供する小中高大一貫校の設立
- STEAM教育の提供

個人の意欲や関心に応じて個別最適化されたプログラムを提供する新たな小中高大一貫型教育による未来人材の育成

11

オンライン行政手続き・顔認証決済でゆとりのある生活

全ての行政手続きのオンライン化やキャッシュレスで心と時間にゆとりのある生活

- オンライン行政手続
- まえばしIDを活用したキャッシュレス決済
- まえばしIDを活用した給付・納付
- 顔認証による図書貸出
- スマートシート
- 認証機能付きATM

1

「めびき場」を活用したパーソナライズされた学育

- めびきアプリ・めびき場を活用した才能の見える化、理解度に応じた学びの提供
- まえばしIDを活用した個別最適化コンテンツのオンライン提供
- 秘密分散・秘密計算による情報管理

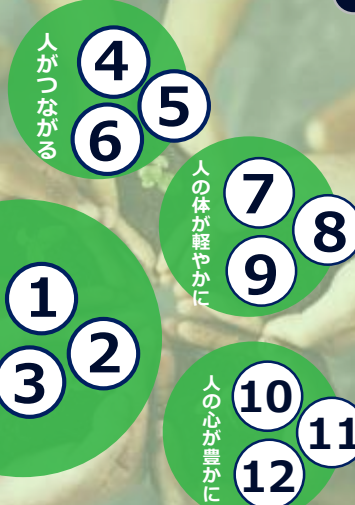
バーチャル×リアルで街じゅうが全ての市民の学びの場になる学育空間の実現

12

クリーンエネルギーとグリーン都市によるカーボンゼロ

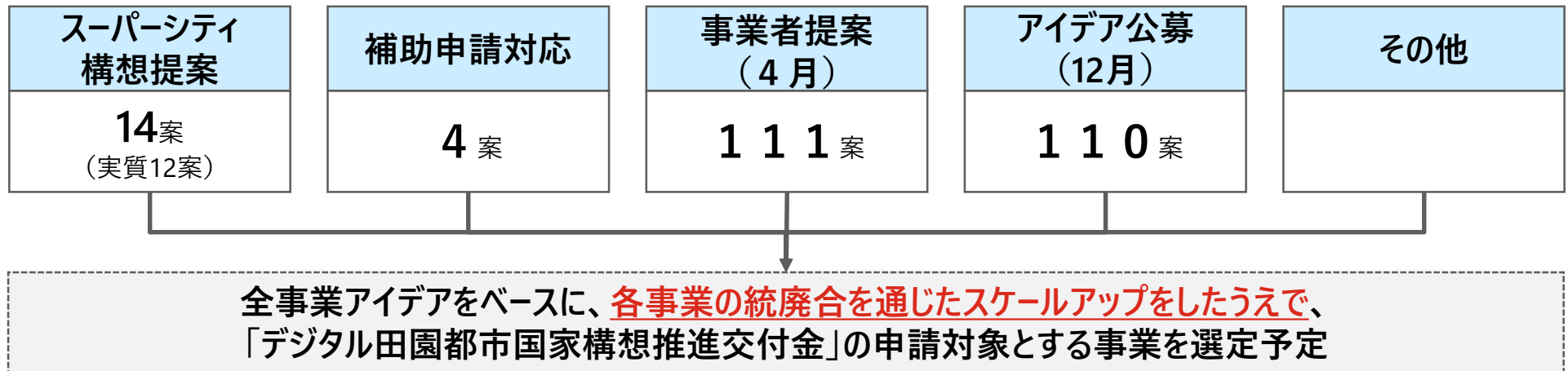
再生可能エネルギーの活用やみどりの価値の見える化で緑の溢れるカーボンゼロの生活

- U-GREEN
- アーバンデザイン、グリーン&リラクスの実現
- VPP（仮想発電所）と分散型グリッドの構築
- 脱炭素実現サービス
- LEED都市



デジタル田園都市国家構想推進交付金対応申請に向けての考え方

デジタル田園都市国家構想推進交付金の申請にあたっては、スマートシティ推進の中で検討してきたサービス、アイデア公募の結果等を踏まえて、申請事業を検討する



【現時点での予定】

- 令和4年4月4日オンライン説明会
- 令和4年5月13日実施計画提出期限
- 令和4年6月中交付決定

【Type 2、3に求められる要件】

- デジタル原則への準拠及び共助条件（①技術実証ではなく、生活への実装を目指すものであって、②一過性ではなく継続的に取り組み、③将来的には全国展開を志向するものであること）の充足のための取組方針を実施計画に明示していること。
- パブリッククラウド上のオープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス提供事業者が同基盤上でサービス提供するものであること。
- Well-Beingに係る指標について、準備ができた段階で指標を測定し、結果の常時公表を行うものであること。